

令和7年度 第2回 京田辺市立図書館協議会 会議要旨

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 京田辺市立図書館サービスアクションプランについて (事務局)

前回の協議会から内容を大幅に修正した部分の説明を行った。

P 8 の課題について、前回までは4項目であったが、P 9 エの“複合型公共施設に向けての市立図書館運営の見直し”を新たに加えた。

市民がより利用しやすい図書館とするために、運営の見直しやセルフ貸出機、予約図書受け取りロッカーなどの設置の検討が必要とした。

P 9 のミッションとビジョンについては協議してもらう必要である。もう少し明確な表現で設定するほうがわかりやすいと考える。

P 1 1 からの5つの取り組みについて、P 1 3 の“効果的な市立図書館のPR活動の実施”は、図書館を知らない市民に図書館を知ってもらうため、従来の方法に加えてSNSでも発信をする。また、ポスターやチラシは目に留まりやすいものを作成し、掲示にも工夫を加える。

P 1 4 の“他の施設との連携”について、図書館内だけではなく、図書館が外向いてサービスを行い、市民と交流ができる仕組みづくりをする。

(委員)

セルフ貸出機や予約受取ロッカーは先進技術の導入にはならない。

(委員)

課題という項目にせず、現状や現状分析などにしてはどうか。評価されているが、一部このような意見があり検討する余地もあるなどにするほうが良い。

(委員)

開館時間の延長は予算が関係する。それまでに実験的なイベントを開催し、必要かどうか分析してみる。

(委員)

セルフ貸出機と従来通りの対面での貸出も行うことを加えてはどうか。

(委員)

ミッションについては、地域や生活だけではなく、今の利用者にも配慮した形のミッションがあったほうが良い。調べ学習型の図書館を目指すというように読める。

(委員)

読書に親しみやすい。

(委員)

読書生活や読書の楽しみなど、入れておくほうが良い。

(事務局)

ビジョンの内容は「すべての市民が利用したくなる図書館」と考えているがどうか。

(委員)

良いと思う。ミッションとビジョンは、後述のアクションに繋げていくように。

(委員)

必要な時に有意義な情報を提供できる図書館を目指すというような内容にしたらいと思う。

(委員)

PR活動について、図書館のためのものというイメージがある。内容が書けていないので、このままでは情報提供となる。

(委員)

書きぶりが大事になる。抽象的すぎるところと具体的すぎるところのバランスが取れていないように思う。図書館が行うことしか書かれていない。利用者の方にこんなにあるので、それを実現するためにこのように図書館はやっていきますというような書き方がいいのではないかな。もっと訴えかけるものを出さないといけない。

(事務局)

成果指標についての説明を行った。

成果指標は、8項目設定した。貸出冊数は、教育振興基本計画と整合性を図

るため同じ数字とした。プランの中にPR活動を記しているので、SNSを使った広報や、図書館ホームページアクセス件数を設定した。

(委員)

貸出冊数は入れないで欲しい。全国的にも横ばいから微減状態になっているためアピールポイントにならない。ビジョンとして、多くの人々が来館し、コミュニケーションの場として使うということならば、館内閲覧のほうが多くなる。整合性を保つために入れるのであっても、目標値に達することは難しい指標である。

(委員)

ホームページのアクセス件数はいいと思う。入館者数を入れてはどうか。

(事務局)

現在のシステムでは不可能である。

(委員)

複合型公共施設に移転した時には入館者数も指標に加えたいと書いたほうが良い。

(2) 第3次京田辺市子ども読書推進計画の策定について

(事務局)

趣旨、位置付け、計画の期間、計画に定める事項、アンケート結果について説明。

アンケートの結果、課題として、1つ目は、読書好きと答えた子どもの数が減少している。2つ目は、読書量、読書時間の減少。3つ目は、市立及び学校図書館へ行く回数が減っているが挙げられる。市立図書館サービスアクションプラン、南部まちづくりセンターの取り組みも入れていきたいと思っている。第3回の図書館協議会には、計画の内容を検討いただく。UDフォントで作成している。見やすいし、子ども読書という限りは、そこが大事と思っている。

(委員)

読書の定義が、最近大きく変わってきている。定義上は、読書は、紙の本だけでない。YouTubeも読書。この読書活動推進計画の読書をどう捉えるか。

(委員)

全国学校図書館SLAの調査では、不読率は、小学生は緩やかに下がっている。

（３）その他

第１回複合型公共施設整備基本計画検討懇話会について

７月３０日に懇話会が開催された。基本計画の段階なので、これから固めていくことになる。各委員の方からのお話を伺う。小ホールや自習する場所、フリースペースを多く作りたい。機能を融合させるイメージを持ちたいとした意見が出ていた。図書館の今の使い方というものと繋がるものは欲しい。開架率を必ずしも上げすぎると使いにくくなる。開架と閉架のバランスが必要である。管理運営コストが増加することはあるが、今の職員の方々の質は、維持してほしい。実際にそれらに関しては、短期的な視点で行うのではなく、長期的に運営にしていけるような体制をとってほしい。静かな場所と、賑やかな場所の両方とも必要であると懇話会で伝えている。

次回会議 １０月８日（水）１０時３０分から中央図書館集会室